

FD PEEK（ポリエーテルエーテルケトン樹脂）

FD PEEKは、Jilin Joinature Polymerにより製造されている安定した高品質のポリエーテルエーテルケトン（PEEK）樹脂です。

ナチュラルパウダー、ペレット、超微粒子パウダー等の形態でご提供します。

様々な用途・成形法に合わせて、それぞれ熔融粘度の異なる各種シリーズをご用意しています。

- 低熔融粘度（330シリーズ）
- 中熔融粘度（550シリーズ）
- 高熔融粘度（770シリーズ）

FD PEEK の特徴

- 非常に高い耐熱性
- 非常に優れた耐薬品性
- 優れた機械強度、摩擦・摩耗特性
- コスト競争力に優れる

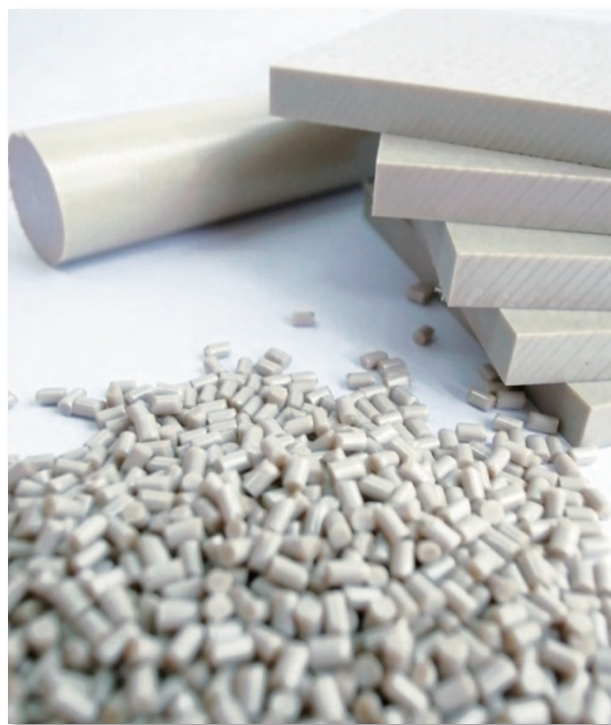
FD PEEK のグレード

ナチュラルペレット、パウダー、微粒子パウダー等がございます。
フィルムやコーティング等、特殊用途向けのグレードもご提案可能です。

- | | | |
|-------------------------|-------|-------------------|
| ➤ Gシリーズ（ナチュラルペレット） | | 330G、550G、770G |
| ➤ Pシリーズ（ナチュラルパウダー） | | 330P、550P、770P |
| ➤ PFシリーズ（ナチュラル超微粒子パウダー） | | 330PF、550PF、770PF |

FD PEEK の品質管理

充実した測定機器および品質管理システムを整備しており
ISO9001認証も取得しております。
RoHSやREACH、FDA、FAR、UL等にも各種対応しております。



FD PEEK の一般物性

項目	測定方法	条件	単位	770G	550G	330G
				ナチュラル 高粘度	ナチュラル 中粘度	ナチュラル 低粘度
引張強度	ISO527	降伏、23℃	MPa	98	98	110
引張伸び	ISO527	破断、23℃	%	45	28	24
引張弾性率	ISO527	23℃	GPa	3.7	3.7	3.9
曲げ強度	ISO178	23℃	MPa	165	165	175
曲げ弾性率	ISO178	23℃	GPa	4.1	4.2	4.2
圧縮強度	ISO604	23℃	MPa	120	120	120
シャルピー衝撃強度 (ノッチあり)	ISO179/leA	23℃	kJ/m ²	7.0	6.0	4.0
アイゾッド衝撃強度 (ノッチあり)	ISO180/A	23℃	kJ/m ²	7.5	6.5	5.5
アイゾッド衝撃強度 (ノッチなし)	ISO180/U	23℃	kJ/m ²	no break	no break	no break
融点	ISO11357	-	℃	343	343	343
ガラス転移点 (Tg)	ISO11357	-	℃	143	143	143
線膨張係数	ISO11359	Tg以下, 流れ方向	ppm °C ⁻¹	45	45	50
		Tg以下, 平均		55	55	55
		Tg以上, 流れ方向		120	120	120
		Tg以上, 平均		140	140	140
熱変形温度 @1.82MPa	ISO75-f	1.8MPa	℃	152	152	156
熱伝導率	ISO/CD22007-4	23℃	Wm ⁻¹ °C ⁻¹	0.28	0.28	0.29
熔融粘度	ISO1143	400℃	Pa s	350	300	130
比重	ISO1183	-	gcm ⁻³	1.3	1.3	1.3
ショア硬度	ISO868	23℃		87	84	87
吸水率	ISO62-1	24h, 23℃	%	0.03	0.03	0.03
		平衡, 23℃		0.4	0.4	0.4
難燃性 @1.6mmt	UL94	-	-	V-0	V-0	V-0
絶縁耐力	IEC60243-1	2.5mm厚	kVmm ⁻¹	15	17	16
体積抵抗率	IEC60093	23℃	ohm cm	10 ¹⁶	10 ¹⁶	10 ¹⁶
誘電正接	IEC60250	23℃、1 MHz	n/a	0.003	0.003	0.003
成形収縮率	ISO294-4	流れ方向	%	1.0	1.0	1.0
成形収縮率	ISO294-4	垂直方向		1.3	1.3	1.3

本資料に記載されている情報は信頼できるデータに基づく代表的な性質の紹介であり、当社及びメーカーが次の事項について保証するものではありません。

(1) 本製品から得られる最終製品の性能 (2) 本製品およびその情報・推奨事項に関連する有効性や安全性
 メーカー、当社およびその代理店は、本製品を使用したことによる結果・損失に関する責任を負いません。本製品およびその情報・推奨事項の使用・活用につきましては、お客様の責任により十分な試験を実施していただき、使用可否を決定いただきますようお願いいたします。最終製品における、本製品の安全性や適正については、お客様ご自身で必要な評価・分析を行っていただき、ご判断くださいますようお願いいたします。
 本資料に記載されている以外の技術情報、口頭での推奨事項などにつきましても、メーカー、当社およびその代理店は、同様にいかなる責任も負いません。

arcplas.co.jp

